

港区における保幼小連携・接続の主な取組

現行の幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領では、育みたい資質・能力として「知識及び技能の基礎」「思考力・判断力・表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」が示されています。これらの資質・能力が5領域におけるねらい及び内容に基づいて展開される活動全体を通して育まれていったとき、幼児期の終わりごろには具体的にどのような姿として現れるのか、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として明確化されています。併せて小学校教育との円滑な接続が重視されています。

学校教育全体で育成すべき資質・能力、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の考え方に基づき、区では、質の高い幼児教育の実現と小学校教育への円滑な接続を図っています。



実効性のある取組につなげる
「港区版 架け橋期のカリキュラム
—接続のとびらをあけて—」



リーフレット

**架け橋
プログラムとは？**

架け橋プログラムとは
5歳児から小学校1年生までの2年間を「架け橋期」として、架け橋期の教育の充実を図るため、保育園・幼稚園・小学校の保育士、教員はもとより、保護者や地域住民等、子どもに関わる大人が立場の違いを越えて自分事として連携・協働し、この時期にふさわしい主体的・対話的で深い学びの実現を図り、一人ひとりの多様性に配慮した上で、全ての子どもに学びや生活の基盤を育めるようにすることを目指すものです。

港区の取組は？

港区の取組
港区全体で質の高い教育を推進します

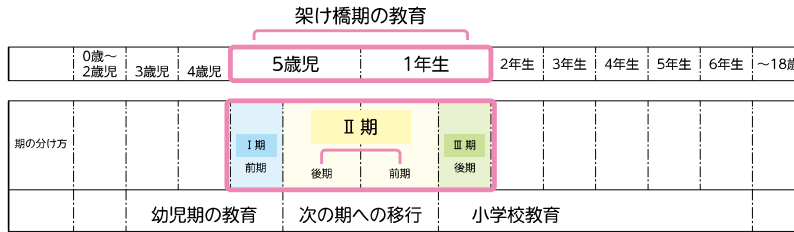
- 育みたい資質・能力の連続性・一貫性を意識した取組
- 学びのつながりを一層意識した取組
- 実行し、実効性につなげる取組

**カリキュラムの
特徴は？**

港区のカリキュラムの特色
5歳児と小学校1年生の**架け橋期の2年間に三つの期に分けて**考え、学びのつながりを意識できるように工夫しています。

区では、架け橋期の2年間を、Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期の3期に分けています。

Ⅰ期は5歳児の前期、Ⅱ期は5歳児後期から1年生前期まで、Ⅲ期は1年生の後期を指しています。特にⅡ期は、次の期の移行の期として、5歳児と1年生を一体的に捉えることによって、より一層、学びのつながりを意識できるようにしています。

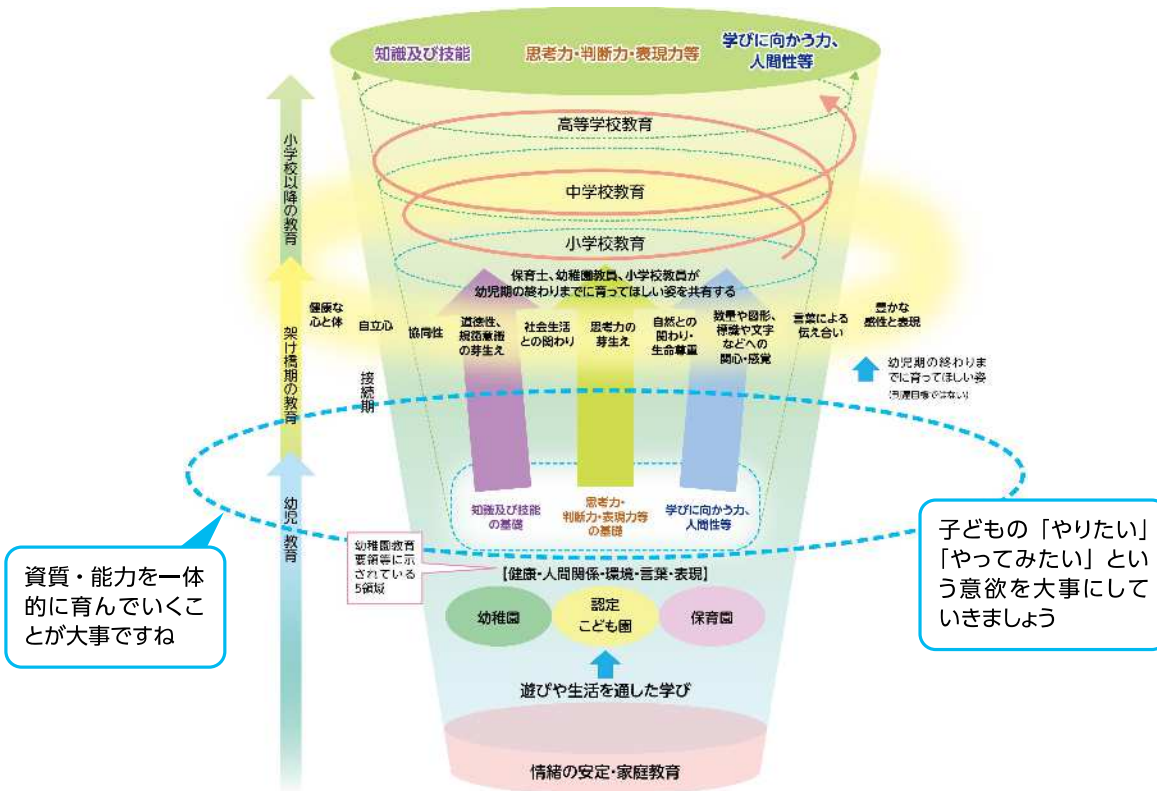


期待する子ども像とは？

期待する子ども像

架け橋期の2年間を見通したとき、各期の資質・能力が一体的に育まれている姿です。

架け橋期 Ⅰ期 5歳児4月～9月	架け橋期 Ⅱ期 5歳児10月～1年生9月	架け橋期 Ⅲ期 1年生10月～3月
<ul style="list-style-type: none"> 自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせる 友達と互いの思いや考えなどを共有して、共通の目的の実現に向けて考えたり、工夫したりする 	<ul style="list-style-type: none"> みんなと楽しみながら関わり、目的に向けて、自分で考えたり、工夫したり、協力したりしながら、あきらめずにやり遂げる 様々な活動(授業)を楽しむ中で、しなければならないことを自覚し、必要感をもって取り組み、自信をもって行動する 	<ul style="list-style-type: none"> 経験で得たことを生かし、主体的に学習に取り組む 学級の一員としてみんなでやることの楽しさを感じ、見通しをもって粘り強く取り組む 自己発揮や自己調整する中で、自分の世界を広げていく



資質・能力を一体的に育てていくことが大事ですね

子どもの「やりたい」「やってみたい」という意欲を大事にしていきたい